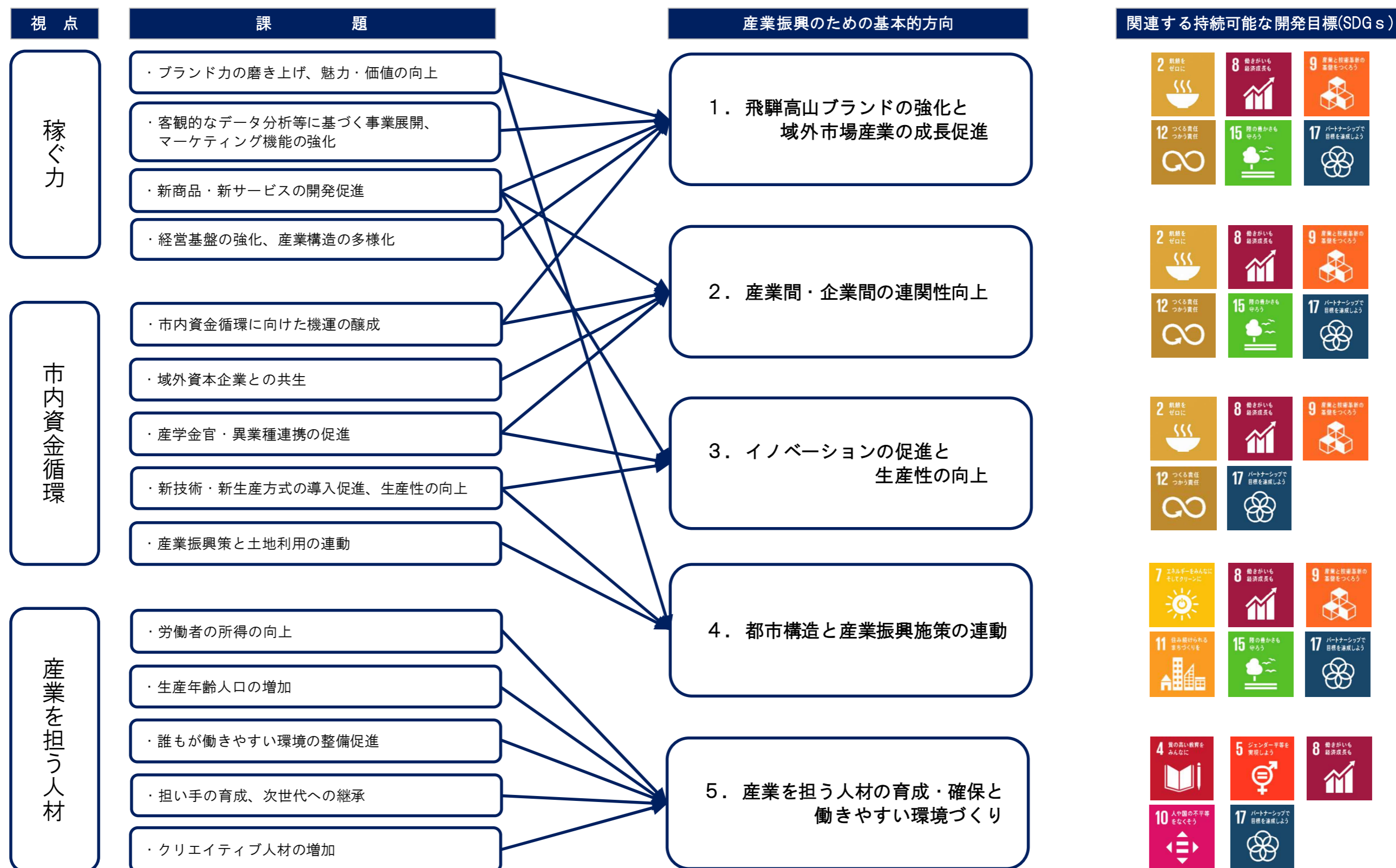


第5章

産業振興のための基本的方向

第5章 産業振興のための基本的方向

「経済構造のあるべき姿」の実現に向けて3つの視点で整理した課題を解決していくため、次の5つの「産業振興のための基本的方向」に基づき、産業振興の取り組みをすすめます。



1 飛騨高山ブランドの強化と域外市場産業の成長促進

- 市民、事業者の共通認識のもと、インナーブランディング、アウターブランディングの取り組みを推進し、意識を高めることにより、地域の魅力や価値をさらに高めます。
- 客観的なデータ分析に基づくターゲットを明確にした事業展開やマーケティング機能の強化を図るとともに、新商品・新サービスの開発を促進し、域外市場産業（基盤産業）の成長を図ります。
- 新たな産業の立地、企業経営の多角化、新分野への進出などを促進し、経営基盤の強化、産業構造の多様化を図ります。

■SDGs との関連



■第八次総合計画との関連

まちづくりの方向性 1

多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ

まちづくり戦略 1-(3)
品質・価値の向上と情報発信

まちづくり戦略 1-(4)
既存産業の強化と新たな産業の創出

2 産業間・企業間の連関性向上

- 商品やサービス、エネルギーなどの市内調達率の向上、市内資金循環の促進に向け、関係者が共通認識を高め、機運を醸成することにより、主体的な取り組みを促進します。
- 市内調達率の向上に向けて、域外資本企業の理解を深め、協力を促します。
- 産業分野を超えた異業種の連携を深めることにより、市内資金循環や新商品・新サービスの開発などを促進します。

■SDGs との関連



■第八次総合計画との関連

まちづくりの方向性 1

多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ

まちづくり戦略 1-(5)

地域循環型経済の構築

3 イノベーションの促進と生産性の向上

- 産学金官連携²²により、専門知識や能力、経験、蓄積されたデータなどの活用と中小企業者等の経営革新、新商品・新サービスの開発などを促進します。
- 新技術・新生産方式の導入やサービスの効率化などにより、中小企業者の生産性の向上を図ります。

■SDGs との関連



■第八次総合計画との関連

まちづくりの方向性 1

多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ

まちづくり戦略 1-(2)

地域産業の担い手確保と生産性の向上

²² 産学金官連携

: 事業者、大学などの教育機関や研究機関、地域金融機関、国・自治体が連携すること

4 都市構造と産業振興施策の連動

- 観光まちづくりの視点に立ち、まち歩きの楽しさを高めるための利便性や回遊性の向上、魅力ある商業空間の創出、町並みの景観保全など、魅力ある中心市街地の形成を図ります。
- 市街地や農山村の景観の向上、市域内の周遊性の向上、秩序ある土地利用の推進と産業振興施策との連動を図ります。

■SDGs との関連



■第八次総合計画との関連

まちづくりの方向性 3

人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる

まちづくり戦略 3-(2)

利便性の高い都市機能とネットワークの構築

まちづくり戦略 3-(3)

地域特性の保全、活用、創出

5 産業を担う人材の育成・確保と働きやすい環境づくり

- 若者をはじめ産業を支える人々が将来に夢をもち、地域に定着するよう、労働者の所得の向上と生活の安定を図ります。
- 誰もが能力を活かしながら生きがいをもち、健康に働くことができる環境整備を促進します。
- 技術やブランド力、精神などが次世代へ継承されるよう、事業承継の円滑化と産業の担い手の育成・確保を図ります。
- 市内産業の価値・魅力を高め、競争力を強化していくため、ICT や企画・デザインなどのクリエイティブ人材の育成・確保を図ります。

■SDGs との関連



■第八次総合計画との関連

まちづくりの方向性 1

多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ

まちづくり戦略 1-(1)

多様な働き方に適応した労働環境の構築

まちづくり戦略 1-(2)

地域産業の担い手確保と生産性の向上

まちづくりの方向性 2

心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する

まちづくり戦略 2-(2)

安心して子育てができる環境の充実

